

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アース環境サービス株式会社 彩都	階数	地上4F
建設地	大阪府茨木市大字宿久庄233番4、2	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	50人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,210時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2015年3月5日
敷地面積	11,194 m ²	作成者	大成建設株式会社 古市 理
建築面積	1,777 m ²	確認日	2015年3月5日
延床面積	6,679 m ²	確認者	大成建設株式会社 平井 昌志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 94%

③上記+②以外の 88%

④上記+ 88%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.7

LR のスコア = 4.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 大阪府茨木市に計画される研究所である。「環境ドクター」の名のもとに、衛生管理におけるコンサルタントとしての立場を担う企業のため、本計画においても建物内の汚染・異物混入防止機能を取り入れた計画としている。また、太陽光発電をはじめとした自然エネルギー利用を行っており、環境負荷低減にも大きく貢献した施設である。		その他 -
Q1 室内環境 ・全面的にF☆☆☆☆の材料を使用している。 ・遮音性能のよいサッシを使用している。	Q2 サービス性能 ・高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。 ・主要機器のバックアップスペースを確保し、非常時の建物維持機能確保に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) ・既存樹木の保存に加え、新たに植栽を行うことで豊富な緑を確保している。 ・備蓄倉庫を設置し、災害時の住民受け入れを可能な計画としている。
LR1 エネルギー ・太陽光発電システムや自然換気・温度差換気システムを採用し、自然エネルギーの積極的利用を図っている。 ・熱源や空調設備等のシステム効率を検証できるシステムを導入している。	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材を積極的に使用しており、非再生資源の使用量の削減を図っている。 ・ODP=0、GWP<50の断熱材を使用している。	LR3 敷地外環境 ・適切な駐輪駐車台数を確保し、交通渋滞に配慮した車両出入り口計画を計画している。 ・有価物の回収やごみ分別容器の設置等による、廃棄物排出抑制対策を実施している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	アース環境サービス株式会社 彩都総合研究所		
	建設地	茨木市大字宿久庄233番4、233番15、233番27、233番28、233番29、233番32、233番34、475番8、475番12、475番13、476番6 国際文化公園都市特定土地区画整理事業施行区域内 E21-1街区2-6画地		
	用途/区分	事務所 工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			S
	CO2削減			3
	省エネ対策			5
	みどり・ヒート アイランド対策			4
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.7 住戸・宿泊	5
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	5.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.4	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	5.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.8	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	5.0	4
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	4.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
		太陽光発電設備の導入	太陽光パネル容量100kWを建屋屋上に設置。	
特に配慮した事項		・自然換気、温度差換気システムを導入する。(空調換気エネルギーの削減)		